

トランザクション

誰が

何を

場所（どこで）

目的（どうする）



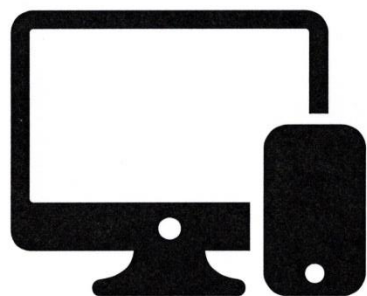
Sign 

だれが

利用者（アクター）

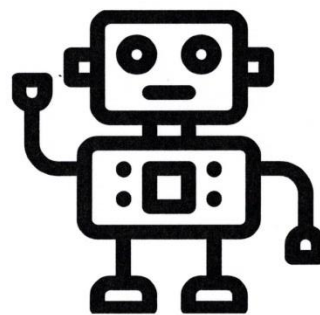


人・組織

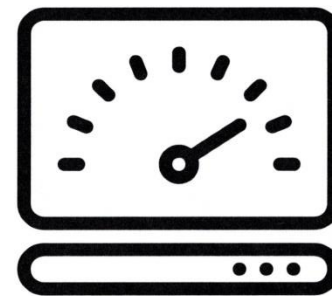


計算機

(含、スマートコントラクト)



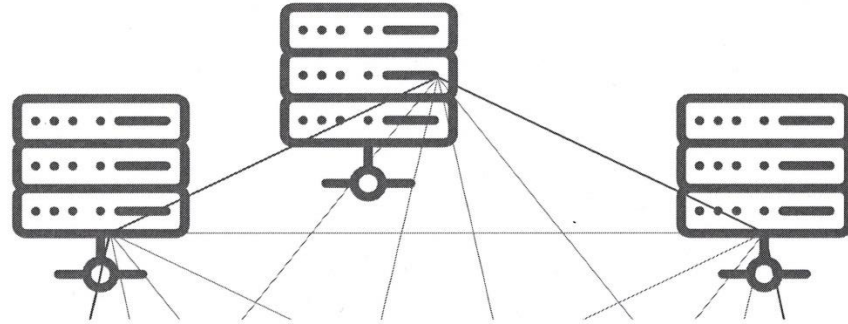
ロボット



センサー

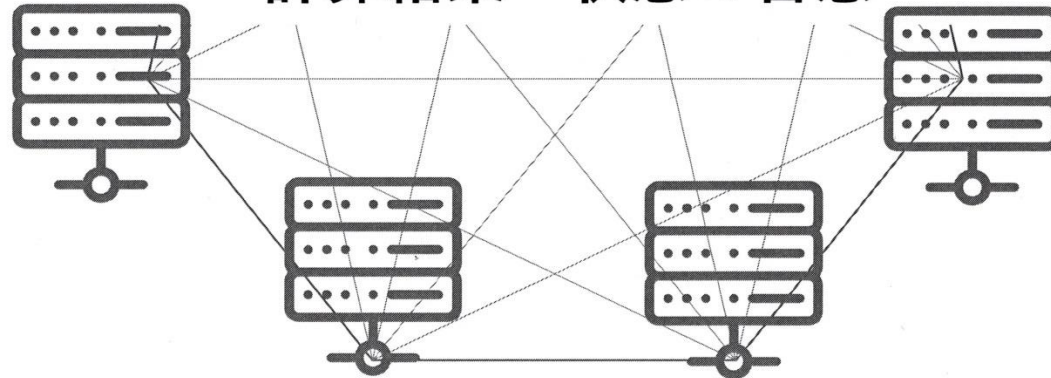
どこで

スマートコントラクト



ワールドステート

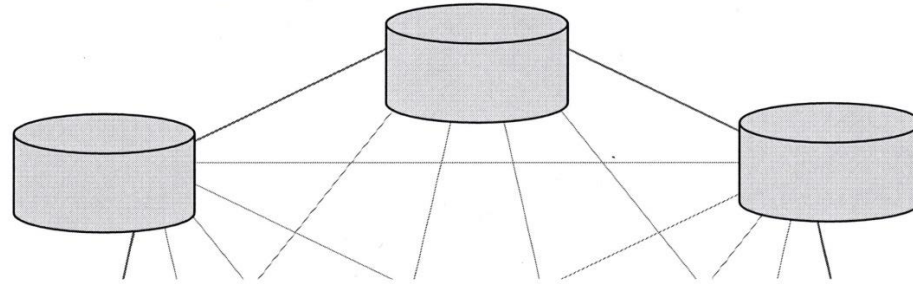
計算結果・状態の合意



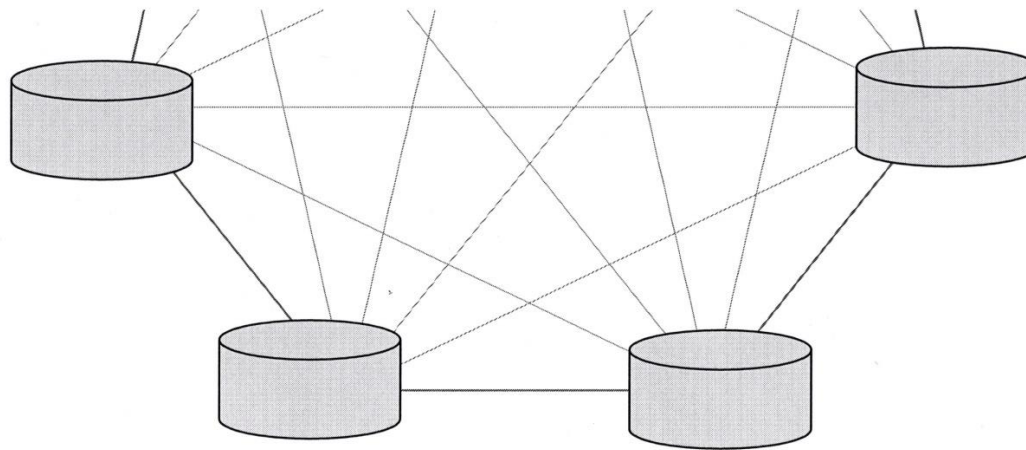
どこで

分散ストレージ

(コンテンツアドレスベースストレージ)

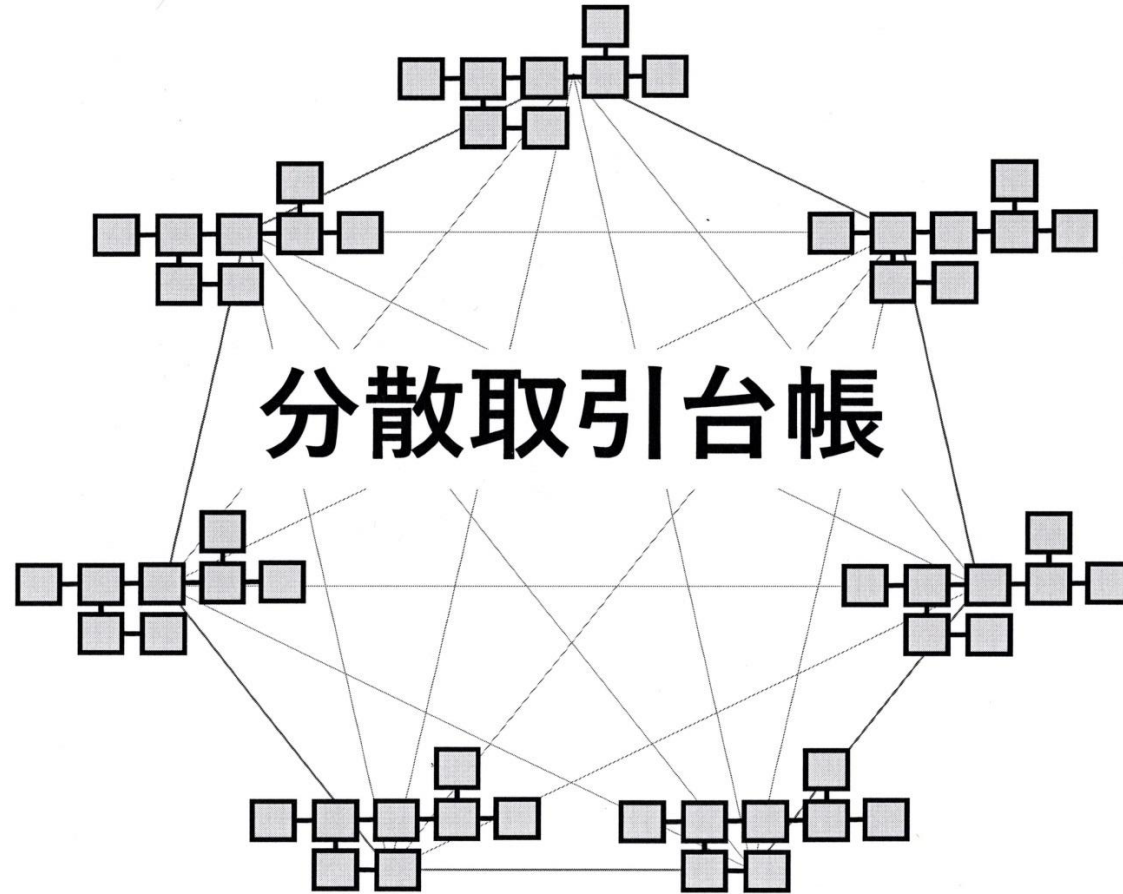


分散ドキュメント保管



どこで

ブロックチェーン



タイトル

オンライン電子投票システム

チーム名

電子立国実現党

この企画によって達成したいこと・目的 (What)

電子立国の実現のため、
まずは、国政選挙投票制度の電子化が必須と考えた。

- 投票所に行かなくても、投票できる仕組み
- 投票後、即時開票も可能となる仕組み

なぜ、この企画が必要なのか？社会的背景や課題 (Why)

選挙投票率の低下は民主主義の根底を揺るがす大きな
問題である。

その原因には、投票所に行く面倒くささがあげられる。
投票日に限らず、期日前投票にしても、投票を自宅で
完了できる仕組みはできるはずだ。

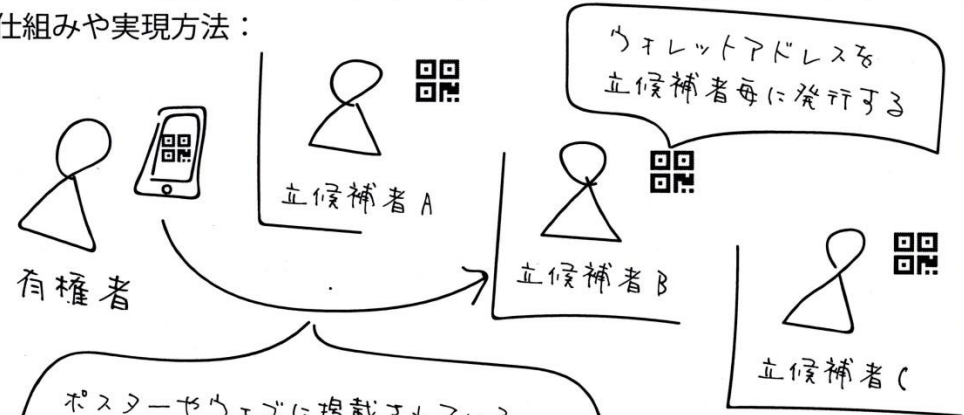
ターゲット・どんな人のためにやるのか (Who)

18歳以上の投票権を持つすべての国民

有権者全員が積極的に選挙の投票に参加できるように
するため。

どのようにやるのか？ (How)

仕組みや実現方法：



ポスターやウェブに掲載されている
QRコード（ウォレットアドレス）宛に
投票券（トークン）を送信する

収益化モデル：税金を活用する。

ただし、オンライン電子投票が実現すれば、選挙運営の
効率向上により、税負担は従来より軽減されるはずだ。

ブロックチェーンやDLTの特性を利用するポイント

選挙権をブロックチェーン上のトークンとして発行し
立候補者をウォレットと見立てて記録することで、
二重投票を防止しながら「1人1票」を確実にできる。
課題として残る「有権者管理」と「匿名投票」の
実現という相反する要求については、リング署名という
暗号技術を用いて工夫すれば、クリアできそう。

タイトル

チーム名

この企画によって達成したいこと・目的 (What)

どのようにやるのか? (How)

仕組みや実現方法:

なぜ、この企画が必要なのか? 社会的背景や課題 (Why)

収益化モデル:

ターゲット・どんな人のためにやるのか (Who)

ブロックチェーンや DLT の特性を利用するポイント